

第三十七回帝國議會 衆議院 華族世襲財產法改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正五年二月二十二日午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

古屋 慶隆君 尾越 辰雄君 三津家 傳之君
高木 益太郎君 加瀬 禧逸君 飯塚 彌一郎君
今井 喜八君 米田 實君 阿部 德三郎君
政尾 藤吉君 岸本 賀昌君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 尾崎 行雄君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 高橋 作衛君 法制局參事官 馬場 鏊一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

司法省參事官 山内 確三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

華族世襲財產法改正法律案

○委員長(古屋慶隆君) 是カラ開會シマス、チヨット開會前ニ御諮リシマスガ、今日山内參事官ガ法律上ノ説明ヲスルト云フコトト出席セラレテ居リマス、別ニ御異議ハナイト思ヒマス

○政府委員(馬場鏊一君) 此前ニ確カ尾越君ノ御質問デアッタカト思ヒマスガ、三井岩崎兩家ガ世襲財產ヲ設定シテ居ルカト云フ御尋ガアリマシタガ、宮内省ニ就テ確メマシタトコロガ、設定シテ居ラヌサウデアリマス

○阿部德三郎君 此原案ノ第三條ハ貴族院第五條トナツテ居リマスガ、此第三條ナルモノハ、現行ノ世襲財產法ト異ナルヤウニ修正サレテ居リマス、元來政府ガ第三條ノ如キモノヲ設ケラレタノハ、立法ノ意味ハドウ云フ意デアリマスガ、即チ未成年者、禁治產者、準禁治產者ニ世襲財產ハ許サヌト云フ立法ノ趣旨ハソコニアリマスガ

○政府委員(馬場鏊一君) 政府提出案ノ第三條ヲ未成年者、禁治產者、準禁治產者ナルトキハ、世襲財產ヲ設定又ハ増加スルコトヲ得ズト致シマシタ趣旨ハ、是ハ實ハ前ニ調査ニナリマシタ時ノ案ニモ、大體此主義ヲ執ツテ居ッタノデアリマスガ、ソレヲ外ニ出シマシタ理由ハ、此世襲財產ノ設定ト云フモノハ、要スルニ父祖ノ權限ヲ以テ子孫ニ望ムコトモ出來ヌト云フヤウナ考ヨリシテ、父祖ノ權者タル者ガ十分ニ將來ノコトヲ慮ツテ、其家ノ爲ニ設定スルト云フヤウナコトガ寧ろ適當デアツテ、能力ノ不完全ナルモノガ他ノ能力補充機關ノ同意ヲ得、或ハ其當主タル有爵者ニアラザル者ガ設定スルノハ、却テ將來ノ爲ニ果シテ利益デアアルヤ否ヤニ付テ疑ガアルト云フヤウナ考ヨリ致シマシテ、能力ノ完全ナラヌモノニ寧ろ設定ヲ許サヌコトニシタ方ガ宜シカラウト云フ考デアッタノデアリマス、立法ノ趣旨トシテハ左様デアリマス

○阿部德三郎君 サウスルト一體本案ヲ制定シタル立法ノ趣意ト矛盾シタルガ如ク見エマス、即チ原案ニハ別ニ此第十二條ノ華族ヲ維持スル爲メト云フヤウナ文字ハ無イノデアリマスケレドモ、元來華族ノ世襲財產法ナルモノハ、華族ノ品位ヲ保ツ爲ニ現在ノ當主ナルノミナラス、其相續人ニマデモ利益ノモノトシテ本法ヲ制定セラレタモノト思ヒマスガ、ツマリ此未成年者或ハ其他ノ者ノ爲ニ補佐機關ノ必要アリト見テ、本法ニ依ツテ世襲財產ヲ設ケルト云フ場合ニ、ソレハ不完全デアルト云フヤウナ趣旨ハ、本法制定ノ趣旨ニハ矛盾シテ居リマセヌカ、チヨット吾々ガ見レバ華族ノ爲ニ必要ナル本法制定ノ趣旨ト矛盾スルヤウニ思ヒマスガ如何デスカ

○政府委員(馬場鏊一君) 政府提出原案ノ通りデアツテハ、却テ世襲財產法ト本法ノ精神ガ矛盾シテ居リハセヌカト云フ御尋デアリマスガ、サウマデハ考ヘテ居リマセヌ、尤モ此第十二條ニ付キマシテハ内部ニ於テハ、イロ／＼疑問ガゴザイマシタゴザイマシタガ、結局斯ウ云フ案ニ致シマシタハ、先程申シマシタヤウナ理由ニ依ツテ、世襲財產ヲ制定スルコトハ免ニ其家ヲ保護スルコトカ、子孫ノ爲ニ不融通ニ其財產ヲスルノデアリマスガ、充分ナル考慮ヲ要スルモノデアリマス、其家ニ取ツテ輕イ問題デハナイ、故ニ十分思慮アルモノガ十分ナル判斷ヲ以テ制定スル方ガ其當ヲ得ルデアラウト云フ考カラ、政府原案第三條トシテ出シマシタ、併ナガラサバ何故貴族院ノ言フ所ニ同意シタカト云フ御反對論ガアラウト思ヒマスガ、貴族院ノ修正ハ實際ニ其必要ノ方カラ論ガ出マシタノデ、却ツテ未成年者デアルト云フヤウナ場合ニ財產ヲ專有物トシテ置クコトガ必要ノコトニナリハセヌカ、其時ニ世襲財產トスルコトガ出來ヌデハ、實際上ニ不便ガアル、併ナガラ唯法テ專斷ソレヲヤルコトハ善クナカラウ、ソレニハ相當ノ諮詢機關ヲ置イテ其議決ヲ經テ鄭重ニ之ヲ爲シタラバ、不當ノ世襲財產ノ設定デハナカラウト、斯ウ云フ實際上ノ必要ヨリシテ、尙以上ノ修正ガ出來マシタ、或ル意味ニ於テハ政府ノ提出案ト、第四條ノ修正案トハ議論ノ立テ方ガ違ヒマスガ、五條ノヤウナ修正ガアツタカラ、甚ダシク世襲財產法ノ精神ニ影響ヲ及ボス程デゴザイマセヌ、或ハ事實ニ於テモ必要ガアルデアラウト云フコトハ、内部ニ於テモ意見ガアツタノデアリマスガ、之ニ同意シタノデアリマス

○高木益太郎君 本會デチヨット御尋シテ置イタ點デアリマスガ、貴族院ノ修正ノ十三條ノ本法ノ施行ニ關スル規定ハ、宮内大臣ノヲ定ムト、斯ウアリマス、是ハ元ヨリ現行法デモ同様ノ規定ガゴザイマスケレドモ、現行法ハ免ニ角明治十九年ニ出來タ法律デアリマシテ、帝國憲法ノ趣旨ナドハ此眼中ニ置イタ譯デゴザイマセヌ、然ルニ今度ノ改正案ハ三十年ノ時ヲ經過シテ居リマスガ、此三十三條以外ノ法文ヲ見ルト云フト、或ハ登錄公債又有價證券ニ關スル規定、或ハ不動産登記公告ニ關スルヤウナ規定、或ハ株券及社債券ニ關スル規定等ガアリマス、而シテ此規定ノ如何ハ華族バカリデナク、此華族ト取引スル所ノ人ノ權利ニヤハリ影響ヲ生ズル事柄デアアル、從ツテ此性質ハ何デアアルカト云フト、純然タル國務デアアル、成程宮内大臣ハ財產ヲ世襲財產ニスルカセヌカト云フヤウナ事柄ニ付テ、認可ヲスルト云フ點ニ於テハ成程宮内大臣ノ職權デア

リマセウケレドモ、其財産ニ利害關係ヲ持ツテ居ル所ノ一般人民トノ關係ニ付テハ、純然タル國務デアラウト思フデアリマス、果シテ然ラバ國務ニ關スル施行規定ヲ宮内大臣之ヲ定ムト云フ事柄ハ、憲法ノ原則ニ背ク話デアッテ、即チ物ニ依ッテハ大藏大臣或ハ農商務大臣、或ハ司法大臣各其主務大臣ガ施行ニ關スル規定ヲ定ムルコト云フコトハ當然デハナイカト考ヘマスガ、其點ニ付テ政府ノ意見ノ存スル所ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(馬場鑛一君) 本法ノ施行規則ヲ宮内大臣ガ定メルコトハ、憲法ノ趣意ニ背クヤウニ考ヘルガ、ドウデアアルカト云フ御尋ト思ヒマスガ、御承知ノ如ク宮中ノ仕事事府中ノ仕事、即チ宮内省ノ事務ト政府ノ事務トノ區別問題ハ、ハ随分ムツカシイ問題ノヤウニ思ヒマス、併ナガラ既ニ今日華族ニ關スル事柄ハ、宮内省デ扱ッテ居ルト云フコトニナッテ居リマス、從ッテ華族ニ關スル一切ノ事務ハ宮内省デ掌ッテ居ルデアリマス、其事ノ善惡ハ別問題デアリマスガ、サウ云フ今日ノ制令デアリマスカラ、本法ノ如キヤハリ華族世襲財産、即チ華族ノ事ニ關シテ居ル事務ナルガ故ニ、總テ認可其他ノ事ハ御説ノ通り、本法ハ宮内大臣ニ職權ヲ與ヘテ居ル、而シテ人民ノ稍々權利義務ニ關スルヤウナ事柄ハ、例ヘバ有價證券等ニ付テ、株主名簿ニ或ハ社債原簿ニ記載スル等ノ事柄ハ、既ニ法律ガ出來テ居ルデアリマスカラ、三十三條ニ依ッテ定メル所ノ規定ハ、成程國務デアアルカモ知レマセウケレドモ、ソレハ極ク輕易ナ所ノ施行手續ニ關スルコトデアリマスカラ、之ヲ却テ大藏省其他ノ政府ノ方ノ官省デ之ヲ定メマスコトハ、本法施行ノ責任ヲ持テ居ル宮内大臣ノ職權トノ關係ニ於テ、却テ齟齬スル點モアリハシナイカ、却テ一致ヲ缺クヤウナ點ガアリハシナイカ、ソレヨリハ施行規則ハヤハリ宮内大臣ヲ以テ定メサセマス、素ヨリ施行手續デアリマスカラ、決シテ人民ノ權利義務ト云フヤウナモノニ關スルモノデハナイト考ヘテ居リマスノデ、現行法ノ通りニ致シマシタ、必ズシモ宮中ト政府トノ別ヲ案ルト云フヤウナ問題デハナイヤウニ考ヘルデアリマス

○高木益太郎君 唯今政府委員ノ御説デゴザイマシタガ、現ニ現行法ノ下ニ於テモ、例ヘバ華族ノ土地ヲ抵當ニ取ッテ、其財産ハ世襲財産デアッタ、然ルニ是ハ不動産登記ノ上ニ世襲財産デアルト云フコトガ現レテ居ラス、世襲財産タルコトノ登記ヲシテナカッタ、斯ウ云フノ債權者ト其對手ノ華族トノ間ニ、種々ナ問題ガ起ッテ混雜ヲ生ジタト云フコトヲ吾々ハ聞イテ居リマス、サウシテ見マシレバ成程大體ノ原則ハ本法デハ極メテ居リマスケレドモ、又其施行ニ關スル規定モ大切ナモノデアリマシテ、其規定ヲ怠ッテ居ルト云フト、從ッテ其權利ヲ失フヤウナ場合ガナイトモ言ヘヌデアラウト考ヘマス、是ハ事柄ノ難易如何ニ拘ラズ、性質ノ論デアリマス、畢竟スルニ今日マデ宮内大臣ガ、全部現行法ノ二十六條ニ依ッテ施行手續ヲ定メルト云フ規定ガアッテスラモ、尙司法裁判所ノ判決ト宮内省ノ方針ガ齟齬スルヤウナコトガ起ッテデアリマスカラ、ソレヨリハ寧ロ世襲財産ニ關スル公告、登記、登錄ニ關スル事柄ハ司法大臣ガ之ヲ定メルト云フヤウナ工合ニ、各主務大臣ガ其施行ニ關スル規定ヲ定メレバ、專門ノ大臣ノコトデアリマスカラ、行違ノナイヤウニ即チ齟齬ヲ生ジナイヤウニ、能ク實際ニ適ッテ手續規定ヲ定メルコトガ出來ヤウカト考ヘルデアリマス、現在此世襲財産ノ登記問題ニ付テハ、餘程民間ニ於テモ苦情ガ多カッタデアリマスカラ、事柄ノ輕重ニ拘ラズ、物ノ性質ノ論デアリマスカラ、其國務ニ關スルモノデケハ、當該大臣ヲシテ其施行規定ヲ定メルト云フコトガ相當ノヤウニ考ヘルデアリマス、此點ニ於ケル政府ノ意見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(馬場鑛一君) 登記、登錄是等ノ事ハ既ニ御承知ト考ヘマスガ、不動産登記ノコトハヤハリ不動産登記法デ規定サレテ居リマスシ、本法ノ附則ニ於テモ既ニ不動産登記法中ノ一部ノ改正ヲシテ居ル譯デアリマス、ソレカラ登錄國債ノ如キハヤハリ如何ニシテソレニ登錄スルカト云フヤウナコトハ、自ラ國債ニ關スル法律ノ施行ニ關スル大藏大臣ノ省令ニ依ッテ定メラレルコト、信ジマス、故ニ施行規定ニ定メマスコトハ、サウ云フ人民ノ直接權利義務ニ關スル事柄ハ無イコトト信ジテ居ルデアリマスガ、物ノ性質論ト云フ御議論モ出マシタケレドモ、既ニ華族世襲財産法ニ於テ宮内大臣ガ本法ノ適切ニ行ハル所ノ施行ノ責任ヲ持ッテ居ルモノト法律ハ見テ居ルデアリマスカラ、宮内大臣ニ此施行手續ヲ定メサセル方ガ、寧ロ法律ノ精神ニ適ウヤウニ考ヘテ居リマスノデ、サウ致シタデアリマス、或ハ御答トシテハ不十分カモ知レマセウケ、ドウカ……

○高木益太郎君 今日ノ社會ノ趨勢ハ、現ニ華族ノ中デモ板垣伯ノ如キハ、既ニ一代華族論ヲ唱ヘラレ、乃木將軍ノ如キハ養子廢止論ヲ唱ヘラレ、其他華族ノ中デモ有力ナル人々ノ中ニ、現在ノ華族制度ニ付テハイロ／＼ノ議論ガアル、又華族以外ニ於テハ勿論ノコトデアリマス、社會ノ趨勢ハサウ云フ風ニナッテ居リマスノニ、政府ガ尙華族世襲財産法ヲ御提案ニナッタト云フノハ、少シク社會ノ風潮ニ背イタ次第デハナイカ、華族ガ自分ノ財産ヲ自分デ齊メルコトガ出來ヌノデ、世襲財産ニ依テ初メテ保護ヲ受ケルト云フヤウナ能力ノ無イ華族ニ付テ、斯カル法案ヲ作ルト云フコトハ甚ダ面白クナイヤウニ感ズルデアリマス、殊ニ華族當主其人デアレバ、國家ニ功勞ノアル人デアリマスカラ、其人ニ對シテ相當ナ社會上法律上ノ優遇ヲスルト云フナラバ、免モ角モデアリマスガ、其子孫ニ至ッテハ何等國家ニ功勞ガ無イノデ、之ニ付テハ世ノ中ニモ既ニ種々議論ノ存スルトコロデアリマス、故ニ華族世襲財産ヲ廢スルト云フコトハ、今日ノ法律上カラ見テモ、社會上カラ見テモ、經濟上カラ見テモ、澤山ノ財産ヲ不融通物ニスルト云フコトハ謂レナイ話デアラウト思ヒマス、政府ハ何故ニ社界ノ潮流ニ背イテ、永久ニ世襲財産ニ關スル法規ヲ御提案ニナッタデアラウカ、或ハ一代華族論アリ、或ハ華族ノ爵位ヲ漸次低下セシ、例ヘバ伯爵ヲ子爵ニ、子爵ヲ男爵ニ、男爵ハ華族ノ地位ヲ去ラシメルト云フヤウナ論モ盛デアルノニ、政府ハ何故ニ此潮流ニ背イタ御提案ニナッテ、世襲的ノ規定ヲ設ケルト云フ御考ニナッタデアアルカ、是ト同時ニ御尋ヲシテ置キタイノハ、近時華族ノ中ニ其地位ヲ濫用シテ、或ハ破レ銀行ノ頭取ニナッタリ、或ハ寄附金募集ノ團體ノ委員長ニナリ、サウシテ愚夫愚婦ヲ籠絡スルト云フヤウナ者モアルヤウデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテハドウ云フヤウナ御取締ヲ爲サル御考デアアルカ、尙又之ニ關聯シテ御尋シテ置キタイノハ、現在ニ於テモ或ハ岩倉或ハ二條ナド、云フヤウナ華族ノコトニ付テハ、新聞紙上、輿論所ノ報告、裁判所ノ訴訟記録等ニ於テモ、隨分種々ナル問題ヲ惹起シテ居ルヤウデアリマス、殊ニ吾々同僚ガ聞ク所ニ依ルト、華族ノ中ニ非常ニ澤山債務ヲ背負ッテ居ッテ、サウシテ突然名ヲ病氣ニ藉リテ一片ノ診斷書ヲ醫者カラ貰ッテ隱居許可ノ申請ヲシテ、ソレデ自分ハ隱居ニナッテシマッテ、サウシテ相續人ニ其儘跡ヲ繼カセル、相續人ハ總テ世襲財産ノミデアアル、隱居ハ身體一ツデアッテ、債權者ト云フモノハ何等

債權ノ執行ヲスルコトが出来ヌト云フヤウナ状態デアル、此場合ニ債權者タル者ハ華族
デアルト云フノ信用シテ非常ニ金ヲ貸シタリ何カスルト、其財産ハ殆ド世襲財産ハカリ
デアデ、無責任ノ状態デアデ、非常ナ損害ヲ被ル、然ラバ隱居ノ許可ノ點ニ付テ何
カ異議ヲ言ヘルカト云フト、現行法ニ於テハ異議ヲ言フ途ガ無い、裁判所ニ於テハ其申
請人ノ提出シタ一片ノ證書ヲ診斷書ダケニ依テ病氣デアルカラト云フテ隱居ヲ許可スル
ト云フヤウナ爲ニ、債權者ハ非常ニ迷惑ヲ受ケルコト云フコトデアル、是等ハ華族ト云フ地位
ヲ或ハ犯罪ノ用ニ供シタリ、或ハ借金ヲ踏倒ス材料ニシテ、サウシテヤルト云フコトニ付
テハ、世間ニ非常ニ非難ノ聲ガ高イヤウデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハドウ云フヤウナ
取締ノ意見ヲ御持チニナデ居ルデアラウカ、今日ハ既ニ維新後五十年モ經テ居ル
デアラガ、吾々ノ考ニ依ルト王政維新ノ方針ト云フモノハ四民平等ト云フコトガ原則デ
アルノニ、特ニ華族ノミニ斯カル優遇ヲ與ヘルト云フコトハ甚ダ面白ク思ハヌ、若シ是ガ
社會政策ノ上カラ過日本會デ御尋ネラシタヤウナ工合ニ、憐ナル細民ノ家族ヤ何カニ
付テ相當ナ方法ヲ立デルト云フコトデアレバ、免モ角デアリマスガ、唯其地位ガ華族デア
ルト云フ爲ニ斯カル立法ヲスルト云フコトハ、維新ノ四民平等ト云フ大方針——國是
ニ一體反スル譯デアナイカト、吾々ハ信ズルデアリマスガ、其點ニ付テノ政府ノ意見ヲ
御尋シテ置キタイ、モウ一ツ併セテ御尋フシテ置キタイノハ、此維新後華族ト云フ爲ニ
禁錮以上ノ刑ニ當ルベキ罪ヲ犯シテ、サウシテ其實起訴ニナラヌ者ガドウ位アルデアラ
ウカ、明治三十五年四月十一日内閣總理大臣ノ達ニ依ルト、有罰者ニシテ禁錮以
上ノ刑ニ當ルベキ罪ヲ犯シタル時ハ、奏聞ヲシタル後起訴スベシトアル、ソレ故ニ必ズ奏
聞ノ手續ヲ經ナケレバナラヌデアラガ、ドウ位華族ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルベキ者ト
シテ奏聞ヲシタ件數ガアルデアリマセウカ、是等ニ付テモ詳シク御尋フシテ置キタイ、ソレ
カラ又或ハ財産ニ關シ或ハ斯カル刑事上ノ犯罪ガアル場合ニ、被告人ノ身分ニ依ッテ
其起訴ノ手續ヲ異ニスルト云フコトハ、國民ハ法律ノ前ニ平等デアルト云フ原則ヲ打破
ル譯ニナッテ、立憲ノ本義ニ反スル譯デアナイカト考ヘル、如何ナル貴顯デアラウトモ、如
何ナル富豪デアラウトモ、法律ハ平等デナケレバナラヌ、社會上ノ地位トカ財産ト云フモ
ノハ甲乙ハゴザイマセウケレドモ、國家ノ之ニ對スル取締ガ地位ニ依テ違フト云フコトハ、
立法ノ根本原則ニ悖ルヤウニ考ヘマス、吾々ハ斯カル事柄ハ一日モ早く撤廢シナケレバ
ナラヌト信ズルデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ御意見ヲ御持ニナッテ居ル次第
デアラウカ

○政府委員(馬場鐵一君) 唯今ノ御尋ニ對スル御答ハ難問ガアルヤウデゴザイマスガ
ラ、或ハ私ノ答ガ其當ヲ得ナイカモ知レマセヌ、唯世襲財産ニ關係シタ範圍ニ於テ御答
フシタイト思ヒマス、第一ハ御説ノヤウニモ伺ヒマシタガ、一代華族或ハ爵ヲ段々低クスル
ト云フガ世論デアルノニ、何故ニ斯ウ云フコトニ著眼シナイカ、又現在ノ儘華族ノ制度ヲ認
メテ之ニ世襲財産ノ特權ト云フヤウナモノヲ與ヘルト云フヤウナ御問ニ承リマシタガ、サウ
云フ世論モ無いデアナイデゴザイマセウカ、政府ノ此案ヲ出シマシタコトニ付テノ考カラ申
セバ、一代華族トカ或ハ爵ヲ低落セシムルト云フコトノ制度モ、採用スルト云フヤウナ考
ヲ以テ無論立案シタノデアナイノデス、併ナガラ何故ニ華族ノミニ此ノ如キ特權ヲ與ヘタ、
此法律ヲ出シタカ、此事ハ先日モチヨット問題ガ出シタガ、世襲財産ノ制度ヲ華族ト

云フ特別ノ階級以外ノ者ニ及ボスガ善イカ惡イカ、又更ニ一般ノ人民ニモ世襲財産又
ハ家産制度ト云フヤウナモノヲ制定スルコトガ善イカ惡イカト云フコトハ、是ハ餘程攻究
スベキ問題デアリマス、唯今世襲財産法ノ改正ヲ爲シマス際ニ於テモ、研究致サヌデアリ
マセヌガ、此問題ハ餘程制度ノ根本ニ付テモ、研究ヲ要シ、更ニ進シテ他ノ法律トノ關
係、其他ニ付テノ研究ハ、サウ急ニハ運ブベキ問題デアハアリマセヌ、ソレデハ尙慎重ナ
研究ヲ要スルコト、致シマシテ、茲ニ唯今日存シテ居ル現在存シテ居ル華族世襲財産
制度ガ時勢ノ進運ニ伴ハズ、幾多ノ不利不便ガアル、即チ債權者側カラ考ヘ又華族ノ
側カラ考ヘテ不利不便ガ少ナクナイ、故ニ差當リ此問題ヲ解決シタイ、更ニ進シテ一般
ノ華族制度ナリ世襲財産ノ制度ナリノ考慮ヲシタイト云フコトハ、此改正案ヲ出シタノデ
アリマス、是ハ併シ華族ト云フ特別階級ニ限ッテ居ルノデ、四民平等主義ニ反スルト云
フヤウナ御議論モアツタヤウニ聞キマシタガ、今日ノ華族制度ハ御承知ノ通り明治十七
年ノ華族及中興ノ功臣ニ爵ヲ授クルノ詔ト云フノガゴザイマシテ、免ニ角華族ハ特ニ社
會上ノ地位ヲ尊クシ、財産ノ富ヲ繼續シ、子々孫々マデモ父祖ノ國ニ盡シタル其功勞ヲ
長ク傳ヘ、又子々孫々ヲシテ益ニ忠勤ヲ勵ムヤウニト云フ詔勅モアルデアリマスノデ、免
ニ角全ク特殊ノ階級ヲ爲スモノデアリマシテ、既ニ貴族院ノ如キモ有爵ノ議員ヲ本體ノ
如クニシテ出來テ居ル次第デアリマスカラ、此種ノ世襲財産制度ヲ存スルト云フコトハ、
第一次ニ其當ヲ得テ居ルヤウニ考ヘマス、故ニ此階級ニ此特權ガアルカラト云ッテ、必ズ
シモ四民一般ノ平等主義ヲ破ルト云フ直ニ結論ニ到著シナイヤウニ考ヘマス、ソレカラ華
族取締ノ問題デアリマスガ、ソレハ御承知ノ通りニ華族戒飭令ト云フヤウナモノガ皇室
令ニ出テ居リマシテ、華族ノ取締ハ一切宮内大臣ニ屬シテ居ルデアリマス、其制度ノ
可否問題ハ別デアリマスガ、サウ云フ原則ノ制度ノ下ニ於テハ、政府トシテハ之ニ直接ニ
手ヲ染マルト云フコトハ、今日ノ状態ニ於テハ出來ナイ筈ニナッテ居リマス、勿論華族ノ
不都合ハ何等カノ方法デ防グト云フコトハ、無論宮内省デスルコトニナッテ居リマスガ、併
ナガラ政府トシテハ何トモ外ニ方法ハナイデアリマス、ソレカラ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ
タ者ノ不起訴ニナツタ者ガドウ位アルカト云フコトハ唯今材料ガアリマセヌカラ、チヨット申
上カネマス、ソレカラ被告人ノ身分ニ依テ起訴ノ手續ヲ異ニスルト云フコトハ、善イカ惡イ
カ甚ダ不都合デアルト思フガ、政府ハドウ見テ居ルト云フ御尋デアリマスガ、是ハ今日ニ
於テ其手續ガアル、之ガ爲ニ不都合ハ無いト信ジテ居リマス、是モ四民平等ニ反スルト
云フヤウナ御尋デゴザイマスガ、法律ノ上ニ於テハサウ云フコトハナイノデ、唯内部ノ所謂内
部のノ意味ニ於テ、サウ云フ手續ヲ履シテ居リマス、此爲ニ敢テ華族或ハ地位アルガ故
ニ、起訴ノ手續或ハ起訴スルカシナイカト云フ區別ヲ生ズルコトニハ、關係ガナイヤウ
ニ考ヘテ居リマス

○高木益太郎君 私ノ重要ナ點ニ對スル御答ハ無カッタヤウデアリマスガ、或ハ政府委
員ノ立場トシテ言ヘナイカトモ考ヘマスカラ、次ノ問ニ移リマス、此第八條ニ前條ノ規定
ニ依リ公告シタル財産ニ關シ、權利ヲ有スル者ハ前條第一項ノ公告期間内又ハ其ノ
期間満了後二月内ニ之ヲ宮内大臣ニ申出ヅベシト云フ規定ガアリマス、ソレカラ附則
ノ第二項ニ本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ、世襲財産ノ純利益ニ付他人ノ有スル權
利ハ、本法施行法ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス、斯ウ云フ規定ガアリマス、ソコデ過日本

會御尋シテ點アリマスガ、此法制局長官カラ御配リニナツタ華族現在ノ財產目錄ヲ見テモ一番多イノガ地面アリマス、華族ノ地面ニ付キマシテハ、東京大體此地主ノ階級ガ大華族ノ地面ガ或ハ其地面ノ收益ヲ副業ニシテ居ル地主ノ地面ト、ソレカラ地面ノ收入ノミヲ當テシテ居ル者ノ地面トハ、地主ト借地人ト關係ニ於テ嚴重ノ取扱ヲスルト、寛大ノ取扱ヲスルトノ區別ガアル、大華族ノ地面ハ多クハ借地人ハ安心シテ其土地ニ住ムテ居ル者ガ多ク、本郷區アタリデモ一人ノ華族デ何箇町ト云フ地面ヲ持ッテ居ル人ガアツテ、英吉利ノ華族ト同シヤウナ感シテ持セル華族ガアリマス、ソコデ實際ノ適用問題ニナツテ、今日マデハ其華族ノ土地ヲ借りテ居ル者ガ民法施行前カラ借りテ居テ借地ニ付テハ地上權ノ登記ヲシテ居ラナイ、登記ヲシナクトモ建物ニ付テ登記シタトキハ、建物保護法ニ依テ何人ニモ借地權ヲ對抗スルコトガ出來ルノハ勿論ノ譯デアリマス、トコロガ今度ノ改正ノ方法ニ依テ附則ノ第二項デ、純收益ニ付テハ本法施行後モ效力ヲ持ツト云フコトデアリマスカラシテ、純收益以外ノモノハ效力ヲ有スルカ否ヤト云フコトハ分ラナイと思ヒマス、而シテ本則ノ第八條ヲ見ルト權利ヲ有スル者トゴザイマスカラ、無論地上權モ財產ニ關スル權利ヲ有スル者ノ一ツデハナカラウカト思フノデアリマス、ソコデ從前ノ借地人ハ此場合ニハドウ云フヤウナ具合ニスレバ、從前ノ權利ヲ保全スルコトガ出來ルノデアリマスガ、之ヲ實際問題トシテ、政府ノ意見ノアル所ヲ詳シク御説明ヲ仰ギマス

○政府委員(馬場鐵一君) 御答致シマス、少シ遑デ申上ゲタ方ガ却テ能ク御分リト思ヒマス、世襲財產ニ設定致シマシタ土地ニ付テ申シマスルト、決シテ世襲財產ニ設定シタ、メニ共上ニ賃借權、地上權、永小作權等ノ土地ノ收益ヲ華族ガ收メルコトニ付テ、サウ云フ權利ヲ設定スルコトハ法律上妨ゲナイノデアリマス、世襲財產ヲ設定シタ土地ガ賃借權、地上權、永小作權ノ目的ニナラヌヤウデハ、却テ世襲財產ニシタ趣意ニ背クノデアリマス、故ニ法條ノ第十八條ニ依テ之ヲ不融通物ニ致シマスガ、收益ヲ得ベキ權利ヲ其上ニ設定スルコトヲ妨ゲナイコトハ明カデアルト考ヘマス、唯世襲財產ニシタ土地ニ付テ、地上權、永小作權ヲ設定變更スルコトニ付テハ、宮内大臣ノ認可ヲ受ケサセルコトニシタノハ、往々ニシテ長期ノ地上權、永小作權ヲ設定シ、收益ノ少ナイ安イ地代ヲ取ツテ、世襲財產トスルコトハ之ヲ利用シテ收益スルノ目的ニ反シタコトニナル、故ニ是デケハ宮内大臣ノ認可ヲ受ケサセルノデアリマス、權利自體ヲ設定スルコトガ出來ナイ譯デアリマス、唯宮内大臣ガ世襲財產ノ設定認可ヲ與ヘル際ニ、ドウ云フ權利ノ關係ガ其物ノ上ニ存シテ居ルカト云フコトヲ、設定認可ノ參考トシテ見ルタメニ、權利者ニ申出ヲサセルコトニシタノデアリマス、ソレデアリマスカラ附則ノ規定ニ依テ純收益ダケヲ得ルト云フコトヲ今ノ御問ガアリマシタガ、今申シマシタ地上權、賃借權等ト相關聯スルコトコハ無イノデアリマス、決シテ八條ノ規定アルガ故ニ、サウ云フ權利ガ消滅スルト云フコトハ無イノデアリマス、是設定認可ノ參考ニ權利者ノ申出ヲ受ケルノデアリマス

○高木益太郎君 第十七條ニ據ルト土地ガ世襲財產タル場合ニ於テ、地上權又ハ永小作權ノ設定又ハ變更ハ、宮内大臣ノ認可ヲ受ケナケレバ、其效力ヲ生ジナイト云フコトデアリマスカラシテ、サウシテ附則ノ第二項ニ依テ從來他人ノ有シタル權利ハ、ドウ云フ狀態ニナルカト云フコトハ、研究ノ必要ガ起ル、ソコデ此法案ガ可決ニナリマスルト、

此新法ニ基イテ申請ガアツテ、其土地ノ上ニ借地權ガアル、其借地權ガ建物保護法ニ依テ當然何人ニモ對抗ガ出來ル、然ルニ新法ノ第十七條ニ據リマスルト、地上權ニ付テハ宮内大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其效力ヲ生ゼズトアル、然ルニ實際借地人タル者ガ申出ヲスルコトハ甚ダ困難デアル、建物ノ保護法ノ出來タ所以ハ民法ノ原則カラ言ヘバ、借地人ガ地主ヲ相手ニシテ登記ノ申請ヲスレバ宜イ次第アルケレドモ、ソレハスルト云フコトハ、借地人トシテハ情ノ上ニ於テ忍ビナイ、斯ウ云フコトガ立法ノ主意トナツテ、建物保護法ハ其人情風俗ヲ參酌シテ、日本ノ地主ト借地人ト云フモノハ、實際ハ對等ノ地位デ居ルノデヤナイ、アルカラ弱イ借地人ヲ保護スルコト云フ意味デ、建物ノ保護法ハ出來タ、ヤハリ今度世襲財產ノ第八條モ公告ヲ以テ財產ニ關シテ權利ヲ有スルモノハ、法定期間内ニ宮内大臣ニ申出デラシナケレバナラヌ、其申出ヲシナケレバ、本法施行後ニ於テハ其効力ヲ有タヌト云フヤウニ、ドウモ解釋ヲセラル、ヤウナ危險ガアリハセヌカト思フノデアリマス、尙是ハ重大ナコトデアリマシテ、後ニ裁判上ノ問題ガ生ズルド困リマスカラ、今日一ツ政府委員ノシツカリシタ御意見ヲ同デ置キタイ

○政府委員(馬場鐵一君) 唯今御答シタノデ御解リニナラナカッタカモ知レマセヌガ、此十七條ノ地上權、永小作權ノ設定變更ニ就テ、宮内大臣ノ認可ヲ受ケルコト云フノハ、何等ノ權利ヲ設定シテ無イ、世襲財產タル土地ニ就テ地上權ヲ設定スル、或ハ永小作權ヲ設定スルカ、ソレカラ既ニ設定シテアル所ノモノヲ——世襲財產タル土地ノ上ニ設定シタモノヲ變更スル場合ト云フノデアリマス、現ニ既ニ設定シテアル——地上權、永小作權等ノ設定シテアル土地ヲ新ニ世襲財產トスルト云フ時ニ就テ、第八條ノ規定ガ起ルノデアリマス、而シテ此第八條ノ規定ニ依ッテ權利ノ申出デガナカッタトシタ所デ、是ハ世襲財產ノ權利、世襲財產ノ効力ト少シモ矛盾スルモノデアリマセヌ、故ニ若シモ其申出デガアツテモ無クモ、宮内大臣ガ調ベタ結果如何ニモ殆ド無代同然ノ極ク極ク僅カナ地代ヲ拂ッテ居ル地上權等ガ付イテ居ルト云フコトデアレバ、唯地上權設定ノ認可ヲ與ヘナイト云フ點ダケノコトデアリマス、ソコデ然ラバ本法施行前ニ設定シタルモノハドウカト云フト、是ハ附則ノ第一項デ今マデ食ッ付イテ居ル賃借權——地上權ハ本法施行後ニ於テ何等變更ヲ受ルコトナイコトハ、寧ろ附則ノ一項デソレヲ證明シテ居ルヤウニ考ヘラレバ、唯本法施行後ハ地上權永小作權ニ就テハ、ソレヲ變更スルニ宮内大臣ノ認可ヲ受ケルコトハ、十七條ニ依テ規定シテアルガ、現在ノ權利ハ本法施行ニ依ッテ何等變更スルコトハナイト斷言シテ宜イと思フ

○高木益太郎君 其點ハ大キニ能ク解リマシタ、尙次ニ御尋ラスルノデアリマスガ、此貴族院ノ本法案特別委員會デ、政府委員ノ御説明ヲ見マスルト云フト、墳墓ニ就テハ相續財產デアルカ否ヤト云フ問題ニ就テ、政府委員ハ私ハ個人トシテハ、其事ニ就テハ意見ヲ定メタコトハアリマスガ、墳墓ハ結局相續人ノ無イ場合ハ國庫ニ歸屬スルモノトシテ、相續財產ヲ構成スルモノデハナカラウト極メテ、若シ財產ガアレバ當然絶家ニハナラヌト云フコトガ、司法省ノ解釋トナツテ居リマスト云フヤウナコトガ書イテゴザイマスガ、墳墓ニ就テハヤハリ世襲財產ノ中ヘ這入ルノデアルカ、世襲財產ノ中ヘ這入ラナイカ、ソ

レカラ何故現金ニ就テ世襲財産ノ中ヘ加ヘナイノデアルカ、此二點ニ就テ政府ノ意見ヲ御聽キシタイ

○司法省參事官(山内確三郎君) 唯今本法ニ就テノ貴族院ニ於ケル意見ハ確カ私ノ答ダト考ヘテ居ル、其事ハ少シ速記ノ文字ガ明カナッテ居マセヌガ、司法省ノ解釋トシテハ絶家ノ場合ニ於テ遺產ト云フモノハ國庫ニ歸屬スルト、斯ウニ云フコトニナッテ居ル、其絶家者ノ遺產中ニ墳墓ト云フモノガアツタ時ニハ、墳墓ハ國庫ニハ歸屬シナイノデアル、國庫ガ墳墓ヲ收得シテ、絶家者ノ祭祀ヲ司ルト云フノハ、法文ノ趣意デハナカラウ、故ニ墳墓ト云フ財產ガ假リニアルトシテモ、是ハ國庫ニ歸屬スル財產デハナイ、從ッテ墳墓ノアルマ、家ハ絶家スルト云フコトハ、差支ナイノデ、無縁ノ墓ノアルノハ家が多少ク絶家シテ居ルノデアル、民法ノ規定ハ極メテ其點ハ明カナッテ居ナイケレドモ、墳墓ト云フモノハ所謂相續財產ニ屬シナイト云フコトヲ、或關係係申上ゲタコト、考ヘテ居ル、而シテ墳墓ト云フモノハヤハリ之ヲ世襲財産ニ適スルヤ否ヤト云フコトノ唯今ノ御尋ネノヤウニ承知シマシタガ、此點ハ隨分ムツカシイ問題デ、所謂世襲財産トスル所ノ不動產ハドウ云フモノニ限ルカト云フコトニ就テハ、法文ニ明カナッテ居ナイ、併ナガラ先ヅ大體ニ華族ノ資格ヲ維持スルト云フコトハ、第一ノ目的ニナルノデアリマスカラ、不動產タル世襲財産ガ、先ヅ其收益ヲ有スルモノト云フコトガ本ニナッテ居ルト思フ、尤モ動產ニ就テハ家寶ガアル、不動產モ或ハ收益ナキモノモ、法律上之ヲ世襲財産トシテハイケナイト云フコトハ、此案ニハ定メテナカラウト思ヒマスガ、寧ロ其點ハ私が司法省關係トシテ申上ゲマスヨリハ是ハ政府委員ノ方カラ御話下サツタ方が宜カラウト思ヒマス、起チマシタ序ニ附則ノコトヲ御尋ガアリマシタカラ——是ハ司法省ニ餘程關係ガアリマスカラ、一言附加ヘテ置キマス、例ノ十七條ノ件、地上權、永小作權、斯ウ云フ權利ヲ設定スル場合ニ於テ、有權者ハ必ズ宮内大臣ノ認可ヲ得ナケレバナラヌ、若シ認可ヲ得ナカッタナラバ、其永小作權、地上權ノ設定ハ無効、斯ウ云フコトニ出來上ッテ居ル、サウスルト唯今高木君ノ御質問ノ趣旨ハ附則ニハ何等ノ規定ガナイカラ、從前ノ地上權——宮内大臣ノ認可ヲ得テ居ナイ所ノ從前ノ地上權ハ、別段ノ規定ガ無イ以上ハ無効トナルノデヤナイカト云フ御疑ノヤウニ私ハ聽イテ居ル、然ルニ附則ニハ收益ノコトノミシカ何等規定ガ無イノデアアルカラ、サウスルト附則ヲ補ハサレバ、從前ノ地上權ハ將來無効ニナルノデナイカト云フ御尋ノ直接ノ趣意デヤト私ハ聽イテ居ル、然ルニ唯今政府委員カラ申シマシタウニ、地上權、永小作權ヲ設定スル、或ハ新ニ之ヲ變更スル要件トシテ宮内大臣ノ認可ヲ得ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノハ、茲ニ權利ヲ設定スルガ爲ノ要件、是ハ此法律施後ノ問題デアッテ、從前ノ權利、或ハ既得ノ權利ハ此法律ガ改マルニ依ッテ變更ヲ受ケナイト云フコトハ當然デアリマス、當然デアラバ、附則ノ從前ノ權利ハ本法ノ施行ニ依リ其效力ヲ失ハヌト云フコトヲ何故ニ書クカト云フコトガ、直ニ疑ニナルノダラウト思ヒマス、是ハ協議ヲスル際ニ隨分考ヘタノデアリマス、此規定ハ要ラヌ、無クテモ當然ダト云フコトガ一方ノ意見デアアル、無クレバナラヌト云フコトガ一方ノ意見デアアル、此附則ニ書イタル純收益ニ關スル權利ハ、ドウ云フモノカト云フト、純收益ノ三分ノ一マデハ舊法ノ規定ニ依ルト押ヘルコトガ出來ル、ソコデ世襲財産法ノ改正案ニ於テハ差

押ハ出來ナイコトニナッテ居ル、純收益即チ法定果實ヲ取得スル權利ト云フモノハ全然差押ヲ許サナイ、收益ノ差押ハ此法案ニ於テハ止メテアル、然ルニ從前共三分ノ一マデ押ヘルコトガ出來テ、ソコデ此法律案ガ法律トナッテ施行サレル以前ニ差押ヲシテ居ル、差押ヲシテ居ルガ、ソレハ差押ニ基キテ強制執行ヲ續行スルコトヲ得ルヤ否ヤ、此法律ニ依ルト、法定果實ヲ取得スルノ權利ハ強制執行ノ目的トハナレナイコトニナッテ居ル、差押ヲシタガ、併ナガラ強制執行ヲ續行スルコトハ、又禁ズルト云フコトノ解釋ガ起キハシナイカ、地上權設定ノ如キハ唯一ノ行為デアリマスケレドモ、強制執行ハ長時間ヲ要スルガ故ニ、強制執行ノ著手ハ法律施行前デアッテモ、之ヲ繼續スルコトモ亦法律ガ禁ズルノデナイト云フ疑ヲ生ジテ來ル、ソコデ此附則ハ其差押ヲ續行シテ差支ナイノデアアル、ソレカラ其以前ニ三分ノ一ダケハ舊法ノ規定ニ依ルト質權ノ目的トシテ取ルコトガ出來ル、質權ノ目的トシテ取ルコトノ出來ルモノヲ——質權ニ取ルコトハ舊法デ出來テ居ルガ、之ヲ新法施行ノ後ニ於テ質權ヲ實行スルコトガ出來ルヤ否ヤモ、稍、同等ノ程度ニ於テ疑ヲ生ズルト云フ意見カラ、此分ハ或ハ無クとも既得ノ關係カラ疑ヲ避ケルタメニ、附則ニ書イテ置イタコトニナッテ居ル、今一ツ法律上起ッタ問題ノ如キハ、政府委員カラ言ハレタ通り地上權ヲ將來繼グコトガ出來ルノデアアル、當然繼イダモノト——舊法ノ規定ノ下ニ要件ヲ具ヘテ生ジテ居ルトコロノ地上權、永小作權ノ如キガ、此法律ノ規定ノ變タ、メニ、其權利ヲ侵サレルト云フコトハナイト云フコトニ至ッテハ、明カニ疑ガ無イ此點ハ書カヌト云フコトニナッテ居ル次第デアリマス

○委員長(古屋慶隆君) ドウデス大分時間モ經チマシタガ、今日ハ午後ハ重大ノ問題モアルヤウデアリマスカラ今日ハ是デ止メテハ……

○阿部德三郎君 チョット二點バカリ御尋シタイソレハ原案ノ十二條、是デハ世襲財産ニ付所有權質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ確定判決、又ハ確定日附アル證書ニ依リ云々ト斯ウアリマスノデ、貴族院ガ確定ト云フ二字ヲ此處ニ挿入サレタノデアリマス、サウスルト假執行ノ宣言ナリ判決ニ對シテハ、權利ヲ主張スルコトガ出來ナイト云フコトニナッテアル、此所デ確定日附アル證書ニ於テスラ尙權利ヲ主張スルコトガ出來ルノニ、假執行ノ宣言ナリ判決ニ對シテ權利ヲ主張スルコトガ出來ナイト云フコトニナルト、判決ヨリモ確定日附アル證書ガ非常ニ強イモノニナッテ、假執行ノ判決ト云フモノハ、此場合ニ於テハ何等效力ノ無イ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、何故ニ假執行ノ宣告ナリ判決ニ對シテ、權利ヲ主張スルコトガ出來ナイヤウニナルノデアリマスガ、ソレヲ一ツ御尋致シマス、モウ一ツハ原案ノ二十三條第二項前項ノ期間内ハ主張ニ係ル權利ニ基キテ競賣ヲ爲スコトヲ得ズ、斯ウアルノデアリマス、是ハ實行上競賣ハ出來ナイト云フコトニ止メテ置クノデアリマスカラ、ソレハ分ッテ居リマス、何故ニ此場合ニ於ケル所有權移轉ノ停止ヲシタイノデアアルカ、競賣ハ停止スル、所有權ノ移轉ハ構ハナイ、斯ウ云フヤウニナリマシタナラバ、此規定ト矛盾スルヤウナ嫌ガアルヤウデアリマスガ、ソレハドウデアアルカ、此二點ヲ御尋シタイ

○司法省參事官(山内確三郎君) 先ヅ確定判決ト、ソレカラ確定ノ日附アル證書、此二ツノ原因ヲ以テスレバ權利ガ主張サレルケレドモ、併ナガラ假執行ノ宣言ナリ判決、

之ニ基イテハ何故ニ權利ノ主張が出来ナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、而シテ原案ハ之ヲ判決ト書イテアツタガ、併ナガラ貴族院デ之ヲ確定判決ト變ヘタト云フコトニナッテ居リマスガ、原案ノ判決ト云フ意味モヤハリ確定判決ト云フ意味デアル、イロ／＼ノ法律ニ或ハ判決ト書イテ確定判決ト讀マシ、或ハ明カニ確定判決ト書イテ疑ヲ避ケテ居ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、茲ニ疑ヲ生ズルト云フコトデ、確定判決ト改メタ、而シテ假執行ノ宣言ナリ判決ニ依ッテ何故ニ權利ガ主張スルコトが出来ナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、此世襲財産ニ對シテ所有權、質權又ハ抵當權此三ツノ權利ヲ主張スル權利ハ、後ノ規定ニ依ッテ明カナル通りニ世襲財産ハ其效力ヲ失フ、何故ニ效力ヲ失フカト云ヘバ、世襲財産ハ他人ノ所有物ト云フコトニ極マルガ故ニ、世襲財産ノ效力ヲ失フソレカラ世襲財産ハ質權ノ目的ニ付テハ他ノ者ニ必ズ質權ガアルコトガ極マルカラ、世襲財産ノ效力ヲ失フ、抵當權亦同ジ、其結局世襲財産ノ效力ヲ確的ニ消滅セシムルト云フ效果ヲ生セシムルノガ此十四條デアリマス、サウ云フコトニナルト假執行ノ宣言判決未ダ所有權ガ第三者ニアルヤ否ヤト云フコトガ確定——極ッテ居ナイ場合ニ於テ、世襲財産ノ効力ヲ消滅セシムルコトハ不都合デアル、サウ云フ趣意デ確定判決ト云フコトニ致シタノデアリマス、確定判決ナラザル假定判決ニ依ッテハ、未ダ此世襲財産ノ効力ヲ消滅スルコトハ出来ナイト云フコトヲ考ヘタノガ、此案ノ趣意デアリマス、然ラバ確定日附アル證書ハ如何、斯ウ云フコトニナリマスガ、確定日附アル證書ト云フコトヲ此所ニ入レタ趣意ハドウ云フコトカト云フト、世襲財産ハ他人ノ物デアル、抵當權ガ附イテ居ル、質權ガ附イテ居ル、結局世襲財産ノ名義ハ外ノ者ニナラナケレバナラヌ、ソレヲ當リ前ノ證書ニ致シテ置クト、遂ニ華族ソレカラ惡イ者ガグルニナッテ、日附ヲ遡リシテ其證書ヲ作ッテ、實ハ世襲財産設定前ニ、此財産ガ他人ノ財産ニナッテ、抵當權ガ附イテ居ツタ、質權ガ附イテ居ツタ、斯ウ云フ假定ノ事實ヲ作ッテ世襲財産ヲ引拔ク奸策ガ行ハレル虞ガアル、故ニ先ヅ確定日附ニ依ッテ初メテ證明スルコトが出来ル、斯ウ云フコトニシタ、併ナガラ確定日附デナケレバ權利ノ主張が出来ナイト云フコトニナルト困ルカラ、判決ヲ以テスレバ確定日附ナクシテモ出来ル、サウシテ判決ガ確定シタラ世襲財産ノ效力ヲ消滅セシムルコトヲ得ルト云フ趣意ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ二十二條 御尋デゴザイマスガ、「競賣ヲ爲スコトヲ得ス」是ハ抵當權、質權ノ主張ノアツタ時ニ二箇月ノ茲ニ猶豫期間ガアル、其猶豫期間内ニ抵當權、質權ヲ實行サセルト云フコトニナルト、猶豫期間ヲ置イタ事由ガ立タヌカラ、競賣出来ナイト云フコトニシテアル、ソレカラ勿論ハ強制競賣デハナシ、世襲財産デアル以上ハ抵當權、質權ノ主張ニ依リ競賣ハ出来マスケレドモ、一般ノ強制執行ト云フコトハ固ヨリ許サヌノデアルカラ、強制競賣ノコトハ書イテナイ、然ラバ所有權ヲ主張スルモノガ所有權ノ行使ヲ止メナクテモ宜イカト云フ問題デアル、所有權ニナリマス、茲ニ世襲財産ノ登記ガアル、ソレニ他人ガ所有權ヲ主張スル結果結局二箇月ノ猶豫期間ガ過ギルト、世襲財産ハ其效力ヲ失ッテ、世襲財産登記ヲ消スト云フコトニナリマス、其二箇月ノ猶豫期間内ニ世襲財産ノ登記ガアレバ、世襲財産ハ其效力ヲマダ失ッ

テ居ナイカラ、世襲財産ノ登記ヲ消スコトハ出来ナイコトニナリマス、消スコトが出来ナケレバ其間ニ所有權ヲ主張スルモノガ、他ニ之ヲ處分スルト云フ虞ハナイ、假リニ處分ヲ致シマシテモ登記が出来ナイ、之ヲ以テ對抗ノ出来ナイ状態ニナッテ居ル、所有者ガ所有權ヲ行使シヤウトシテモ、自分ガ有ッテ居ルノハ構ハヌガ、之ヲ他人ニ賣ッテ登記ヲスルコトハ全ク出来ナイ、ソコデ處分ヲスルノハ所有權ノ行使デハナイ、其間ニ收益ヲ收メルコトモアルデセウ、或ハ土地ヲ使フコトガアルデセウケレドモ、抵當權ニ依ッテ他人ニ賣ッテ處分スルコトハ出来ナイ、サウ云フ意味デ茲ニ「競賣スルコトヲ得ス」ト書イテ置イタノデアリマス

○委員長(古屋慶隆君) 本日ハ是デ散會致シマス

午後零時十五分散會

(參照)

世襲財産設定者調

大正四年十二月十日現在

公 爵			侯 爵			伯 爵			子 爵			男 爵			總 計
新	武	公	新	武	公	新	武	公	新	武	公	新	武	公	
計	家	家	計	家	家	計	家	家	計	家	家	計	家	家	計
八	三	六	一七	一〇	一五	三七	二九	三三	一〇〇	八六	二一六	三七八	七六	二一六	九二八
七	二	二	一一	五	二	二〇	三	二五	四〇	一九	一五四	一五八	一五	一五四	二五九
八割七分餘	六割六分餘	三割三分餘	六割四分餘	五割	二割五分	五割四分餘	三割四分餘	七割五分餘	四割	二割二分餘	五割七分餘	四割一分餘	一割九分餘	一割九分餘	二割七分餘

(備考)

公家ハ舊堂上、武家ハ舊諸侯、新列ハ士族等ヨリ華族ニ列セラレタルモノナリ

華族世襲財產設定人員同財產額及同收益額

大正三年十二月三十一日現在

設定人員		土地		公債證書		銀行株券		會社株券		合計		土地		公債證書		銀行株券		會社株券		合計	
新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家	新計	武家
七	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一三、六八一四	四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一、三七、八七〇一	一〇、四八二八	一、〇二〇、〇〇九	三、二二六	一、一五七、二三	一、一五五、一五	一、〇三〇、三五〇	三、三五、八〇〇	一、三九六、六五〇	一、三九四、七〇〇	三、九四、七〇〇	一、九〇、一〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六二、一八〇〇	一、四三三、四六六	
四六、六三一五	六、〇八一八	四八、七四〇一七	一八、九一二四	一、〇七五九二八	二四、五三五〇九	一															

大正五年二月二十四日印刷

大正五年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局